

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 「みと好文カレッジ運営審議会」
- 2 開催日時 令和6年3月1日（金） 午前10時から午前11時30分まで
- 3 開催場所 水戸市総合教育研究所2階 研究室1
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 松橋義樹，マーサー川又，中庭陽子，市原良子，助川公継，春原孝政，小磯重隆，星由香，海老澤裕
 - (2) 執行機関 湯澤康一，菊池精一，橋本裕子，檜山紘大
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 令和5年度みと好文カレッジ事業実施報告について（公開）
 - (2) 令和6年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策（案）について（公開）
 - (3) 令和6年度みと好文カレッジ事業実施計画（案）について（公開）
 - (4) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
 - (1) 令和5年度第2回みと好文カレッジ運営審議会
- 9 発言の内容

委員長 それでは、議事に入らせていただきます。
本日の案件につきましては、全て公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。
はじめに、(1) 令和5年度みと好文カレッジ事業実施報告について、事務局から説明をお願いします。

執行機関 ((1)について、資料に基づき説明。)

委員長 ありがとうございます。それでは、事務局から(1)について説明がありましたが、御意見、御質問等ありましたらお願いします。

___委員 昨年度、紙芝居『義勇軍物語』の上演を行う講座を開催したところ、好評だったため、今年度は『義勇軍物語』の動画を作成して水戸市公式Y o u T u b eで配信したということですが、水戸市民向けというより、日本国民向けというくらいのスタンスでPRしてはいかかかと思えます。満州開拓と義勇軍というのは

国策事業として始まったものであり、資料には「戦争の悲惨さと平和の大切さについて考える」とありますが、戦争うんぬんと言ったレベルの話ではなく、世界恐慌の最中の移民政策であり、国としてもそうせざるを得なかった当時の状況があります。結果としてそこから日中戦争、大東亜戦争につながっていくわけですが、すべて一括りにして「戦争の悲惨さ」というワードで捉えてしまう方も多いと思いますし、たまたま水戸の内原という場所で満州開拓の教育が行われたということですので、本当の意味をもっと広げていくという意味でも、これは相当意味のある事業なのではないかと感じました。

委員長 ありがとうございます。それでは、他に御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

____**委員** 2点ありまして、まず1点目ですが、好文塾について、18ページの事業評価の箇所に、受講者アンケート結果では好評だったと書かれています。本当の趣旨からすると、好文塾の実施を通して市民センターの職員がどうスキルアップできたか、あるいは、これをモデル事業として、どういった成果と課題が出てきたのかということまで分析できると、事業の意味づけができるのかと思います。事業評価自体はこのような形でかまわないと思うのですが、みと好文カレッジの内部で分析をしていただければと思いました。

2点目ですが、さきがけ塾の参加者が各個人の諸事情でかなり減ってしまったということで、もちろんそれぞれの方の事情はあるでしょうが、過去のさきがけ塾で、途中でここまで激減することはあったのでしょうか。今回、偶然激減したのか、たまにこのようなことが生じるのか、わかる範囲で教えていただければと思います。

執行機関 これまでは、ここまで激減したことはございませんでした。今回は、参加者の中に大学生が2人おりまして、就職試験の前に辞めてしまわれたのではということがありました。他の方については、諸事情としか言えない状況です。

____**委員** 来年度以降、このような傾向が続くようであれば、例えば、1年間でやっている講座の内容を少しコンパクトにして、参加しやすくするという方法もあるでしょうし、内容については、この回を削るといようなことは難しいと思うのですが、さきがけ塾を通してどのように水戸市生涯学習サポーターとして育てていきたいかということと照らし合わせて、講座の構成についても検討していく必要があるのかもしれないと感じました。

委員長 このことについて何か御意見等ありますでしょうか。

執行機関 1点目についてですが、毎年やっているわけではないのですが、実施した講座の成果や課題をまとめて、市民センター向けに配布したことはありました。また、2点目のさきがけ塾についてですが、これから説明はするのですが、来年度以降は廃止させていただいて、別の事業に転換していこうと考えています。

委員長 さきがけ塾については、この後、説明があるということでお願いたします。他に御意見、御質問等ありますでしょうか。

(発言なし。)

委員長 それでは、もし何かあれば、最後にまたお願いしたいと思います。

では、(2) 令和6年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策(案)について、

事務局から説明をお願いします。

執行機関 (2)について、資料に基づき説明。)

委員長 ありがとうございます。それでは、(2)について御意見、御質問等ありましたらお願いします。

____**委員** 22 ページの「パパといっしょに夢らんど、ほっとひといきママたいむの開催」についてですが、子育てをしているお母さんと話す機会がありまして、水戸市が市民税非課税世帯に7万円を給付するというのを現在やっておりますが、お母さんは、資金面の支援は大変ありがたいが、子育て中の立場からすると、2～3時間だけでも子どもを預けられる時間、自分の時間がお金に代え難いくらいほしいと話していました。自分の親に子どもを預けられればいいのですが、核家族化でそれもできなく、メンタル的なケアも必要になってくる状況で、それを考えると、「ほっとひといきママたいむ」の開催で育児ボランティアを活用して、子育て中でありながら、子どもをちょっとだけでも安心して預けられるということで、講師による内容よりも、子どもを預けられる時間を確保できるということに対して応募したいという気持ちがあるのだらうと思います。この辺も参考意見として留めておいていただければと思います。

執行機関 「ほっとひといきママたいむ」につきましては、託児を利用して、お母さんだけで講座を受講できるという形をとっておりますので、今後も継続して実施していきたいと考えております。

____**委員** 定数よりも応募人数が多いですね。

執行機関 はい。

____**委員** ぜひ継続していきたいですね。

委員長 後はいかがでしょうか。

____**委員** 訪問型家庭教育支援事業について、今年度、双葉台小学校の就学時健診や、下大野小学校の入学説明会で事業の周知をしていただいたと思うのですが、ローテーションが組まれていて、周知を行う小学校は毎年変わるのでしょうか。

執行機関 ローテーションは組んでおらず、今回はたまたま、双葉台小学校で家庭教育講演会を実施するという情報を得たので、講演会を活用して周知したところです。下大野小学校につきましては、面談も行ったのですが、一人一人の面談には時間もかかるため、1学年10人程度の小規模校でないと難しいということで選定しました。

____**委員** 入学前は不安なことがいっぱいある時期だと思うのですが、前もって相談会があることを各小学校に知らせておいて、アンケートを取っていただいて、相談の希望が多かった学校で相談を行うというようなことはできないのでしょうか。双葉台小学校で相談会を実施しても、相談者がゼロでは、その時間がもったいなく、他の小学校で相談会をやればよかったとなってしまうのではと思うのですが。

執行機関 双葉台小学校で実施した課題としましては、1学年100人規模の小学校ということもあり、相談ブースを設けたのですが、個室ではないブースであったため、相談に抵抗があったのではと思っていますので、今後、やり方を検討していきたいと思っています。

____**委員** このような事業があると、保護者としてとてもありがたいと思うので、よろし

くお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。後はいかがでしょうか。

副委員長 さきがけ塾が今後廃止になるという御説明でしたが、今年度の水戸市生涯学習サポーター協働企画講座の実施内容を見ると、とても市民のニーズに合った内容になっていると思います。参加者も多く、いい内容の講座だったのだらうと思うのですが、今後、さきがけ塾が廃止になると、サポーター講座も新たな展開を見せていくのでしょうか。先程、さきがけ塾の代わりに、来年度からNPOと連携して講座を開催していくという御説明もありましたので、その辺りはどうなっているのか確認させてください。

執行機関 さきがけ塾は廃止するのですが、現在、水戸市生涯学習サポーターが68人おりました、今期のさきがけ塾生がサポーターになると約70人になりますので、サポーター約70人につきましては、継続してサポーター講座を企画していただきます。副委員長がおっしゃるとおり、サポーター講座は市民目線の講座ですので、サポーターの協力を得て、引き続き実施してまいります。

副委員長 サポーター講座は内容がとてもいいので、今後もサポーターを活かしていただければと思います。ありがとうございます。

委員長 その他、いかがでしょうか。

___委員 先程、___委員から話がありました訪問型家庭教育支援事業についてですが、就学に際して受け入れる学校側も、保護者の方とよく話をして、少しでも安心して就学できるように努力はしているのですが、保護者の方も学校には言いにくい内容もあると思いますので、とてもいい事業だと思っています。さらに、就学時健診や入学説明会を活用したりしている点が、とても素晴らしいと思いましたので、どんな形でより広く保護者に声かけできるかということ、今後も御検討いただければと思います。

執行機関 今回の資料には載せてはいないのですが、保護者の方も忙しいので、保護者の方を集めるのではなく、PTAの総会や小学1年生の懇談会等、保護者の方が集まったところに行くというやり方で、今後も検討していきたいと考えております。

委員長 ありがとうございます。後はいかがでしょうか。

___委員 要望ということでお願いしたいのですが、次年度の事業実施計画については、これから内容を詰めていくと思いますので、どこの場所で事業を実施するのかというのは、まだわからない部分があると思います。ただ、今年度の事業実施報告については、各事業をどの場所でやったのかということは重要なポイントだと思いますので、今年度の実施報告の修正は不要ですが、次年度の実施報告からは、各事業を実施した場所をぜひ記載いただければと思います。市民センターを会場にしたり、ここの水戸市総合教育研究所を会場にしたり、本庁舎を会場にしたり、あるいは、お金を出して、人が集まりそうな会場を借りるといったこともあると思います。各市民センターを平等に使用することが必要だということではないのですが、何をどこでやったということを知りたいので、来年度の「令和6年度みと好文カレッジ事業実施報告」では、会場も記載していただけると嬉しいと思っています。

執行機関 ありがとうございます。確かに、事業実施報告には会場の記載が漏れておりま

したので、来年度以降、記載するようにいたします。

委員長 ありがとうございます。それでは、他に御質問等ありましたら伺いたいと思います。

(発言なし。)

委員長 それでは、何かありましたら、最後にまた時間を取りたいと思いますので、次に進ませていただきます。

では、(3) 令和6年度みと好文カレッジ事業実施計画(案)について、事務局から説明をお願いします。

執行機関 ((3)について、資料に基づき説明。)

委員長 ありがとうございます。それでは、(3)について何かありましたら、御意見、御質問等伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

___委員 ICTに関する講座を開催する予定ということですが、具体的にどのようなことをやるのか決まっているのでしょうか。

執行機関 今のところはまだ具体的に決まっていないのですが、iPadやロボットを借りて、子ども向けにプログラミング講座を開催したいとは考えております。

___委員 決まりましたら、教えてください。

執行機関 はい。

委員長 後はいかがでしょうか。

___委員 家庭への支援についてなのですが、子どもに対する支援も大事なのですが、親のメンタルケアも含めた相談窓口のようなものも大事だと思いますし、もっとざっくりとさせますと、親への教育というのが重要度が高いと感じております。

訪問型家庭教育支援事業では、先程、就学時健診時に相談窓口を設けたという御説明もありましたが、ほとんどの方にとって、ニーズが顕在化してなくて、潜在化してしまっていると思うのです。ですので、過去の事例をFAQのような形でまとめていただいて、過去にこのような御相談がありましたので、このようなことで悩んでいる場合は相談してくださいというようなものをあらかじめ用意した上で、質問シートのようなものを作っておいて、答えていただいた方へのサポートをしていただければいいのかなと思います。

また、コンテンツの部分なのですが、「家庭の医学」のような内容の講座をやっただけであれば嬉しいと思っております。薬の使い方がよくわかっていなかったり、子どもにこんな症状が出たのですけれどどうすればいいですか等、家庭の医学に関するニーズは確実にあるはずです。そういったことを、医師会の協力を得たりしながら紹介できる講座があれば役に立つのではないかと思います。5月に実施予定の高齢者対象のさきがけ塾生企画講座では、前水戸市医師会会長の原先生に講師になっていただくと思うのですが、高齢者に対してだけでなく、子どもの親世代のニーズに応えられるこのような講座もあっていいのではないかと思いますので、御検討いただければと思います。

委員長 他に何かありますでしょうか。関連した内容でも結構です。

(発言なし。)

委員長 それでは、全体を通して何かあればお願いします。感想等でも結構ですので、よろしくをお願いします。

____委員 前回の運営審議会でも意見させていただいたと思うのですが、さきがけ塾や東湖塾等は、水戸藩が作り上げてきた中の極めて重みのあるネーミングを使っていると思うので、本来なら、例えばタイトルが東湖塾であるならば、水戸のスピリッツや國體に関するような、藤田東湖先生に見合ったことを、地域の窓口である各市民センター向けにやっていただければと思います。さきがけ塾は廃止になってしまうということですが、「魁」は水戸が果たしてきたワードだと思いますし、タイトルに沿った内容にするというのが、本来の姿かと思いました。そもそも「みと好文カレッジ」という名称が壮大な名称ですし、その名称に見合った内容にするというのが本来の姿だと思いますので、頭に入れておいていただければと思います。

委員長 ありがとうございます。後はいかがでしょうか。

____委員 ____委員の話と少し関連しているのかもしれませんが、毎回、運営審議会の資料を見ておきますと、事業名が似たものが多いと感じておまして、そもそも事業の件数も多いので、審議会中に、今はどの話をしているのか一瞬わからなくなることもあります。このネーミングが、市民に対してどのように映っているのか少し気になっておまして、例えば、東湖塾についてですが、東湖塾は職員研修なので、一般の方の目に触れることはほとんどないのしょうけれど、仮に目に触れたとしたら、どういう内容なのかと勝手に想像されることもあるかと思えます。講座のネーミングを、事務的に内部で扱うときのものと、一般向けに広報するときのもので変更できると、講座へのとっつきやすさも変わってくるのかもしれないとも思えますし、自分が参加者の立場だとすると、講座名というのは結構大事だと実感するところもあるので、今すぐに講座名をいろいろ変えてほしいというわけではないのですが、参加者の声を聞きながら継続的に御検討いただければと思います。

____委員 私はネーミングが悪いから変えてほしいと言っているわけではなくて、ネーミングは素晴らしい水戸ならではのものなので全然問題ないです。ただ、____委員もおっしゃるように、このネーミングが一般公開されたときに、例えば「好文塾」というのはどんな塾なのだろうと、水戸の歴史を知っている方が目にしたら、興味を持ってしまうネーミングだとは思いますが。

委員長 サブタイトルをつけるとか、こういうことをやりますといったようなテーマを、タイトルの後につける等すればよいということなのかと思います。

執行機関 ____委員や____委員がおっしゃるとおり、市民センターの職員からもネーミングがわかりにくいといった声が挙がっておりますので、サブタイトルをつけるか、もっとわかりやすい名称にするかを今後検討してまいりたいと思います。

委員長 ありがとうございます。後はいかがでしょうか。次年度に向けて、感想でも結構ですのでお願いします。

副委員長 先程、____委員や____委員から出たネーミングについての意見に関して、私も感じていたことがあるのですが、私はネーミングは変えてほしくないと思っていて、ネーミングに見合った、水戸の魅力の発信につながる核になるものが示せるといいのかと感じております。内容については、どちらかと言うと子育ての応援をしたり、困りごとの窓口になったりといった、福祉的な要素が多くなっている

と感じるのですが、それはそれで大事な柱なのですが、ネーミングに見合った核になるもうひとつの柱ができると、また魅力が出てくるのではという印象を受けますので、ネーミングを大事に、内容をさらに工夫していただければと思っております。

委員長 ありがとうございます。後はいかがでしょう。
 (発言なし。)

委員長 教育委員会の中だけではなく、福祉部門とのやり取り等、他の部局との連携はどのような機会にあるのでしょうか。

執行機関 講座としてはあまり連携はないのですが、訪問型家庭教育支援事業についてはいろいろな相談内容がありますので、子育て支援課に会議に参加していただき、保健所に相談に行ってもらったりといったようなことはあります。

委員長 ありがとうございます。他にはいかがでしょう。
 (発言なし。)

委員長 それでは、特に意見がなければ、(4)その他に入りたいと思います。事務局からお願いします。

執行機関 (4)その他については、特にありません。

委員長 それでは、以上で、全ての議題が終了いたしました。委員の皆様には、円滑な進行に御協力をいただきまして、ありがとうございました。